

花の台ホールだより

2024. 2. 17
No. 10 (祝 500)
花の台ホールレジデンス員発行

あと1ヶ月少して 2023年度が終わります。

卒室を控えた数人の父母の方から「卒室までのカウントダウンが始まってきた」と聞きました。

私たち指導員も同じ気持ちです。入室してからのあれやこれやが浮かび感慨深いです。

今年度は卒室児が多いとわかつてたので、新入生もいつもより多く入ってほしいと、いろんな取り組みをしてきました。2度の入室説明会・あそぼう会・子育てフェスタへのポスター掲示・学校前でのチラシ配り、保育園にも何度もチラシを置かせてもらいました。しかしなかなか増えない入室希望に落ち込むことも……。

子どもたちが育つ上で、家庭と学校以外に子どもを見守ってくれるもう1つの居場所があるのは重要なことです。祖父母だたり、近隣の友だちだたり、習い事の仲間だたり…様々なとは思いますが、特に共働きの家庭にとっては学童保育がその居場所となります。放課後をお家ではないどこかで過ごすなら、親の便利さ、手軽さだけで選ぶのではなく、子どもたちがより安心できて、より楽しく、持っている力をのびのびと發揮できるような場所を選んでほしいと思います。

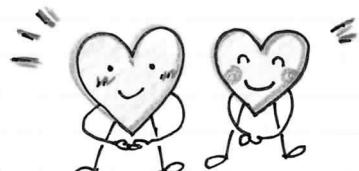
小学生時代は大人へと成長していくための身体と心を育していく時期です。いつかその子なりの花を咲かせるための土を豊かに耕す時期です。小学生になったんだから、と自立を急がせる必要はありません。まだまだ大人の手を借り見守られることで安心して新しいチャレンジもできるようになります。あそんで、食べて、休んで、少し勉強して、けんかして、仲直りして、年下の子のお世話をきて、年上の子にあおられて背伸びして、たまに失敗して、ガツンとへこんで、またチャレンジする、時には後退しているように見えたる足並みする日があっても、急に飛躍する時もある…たわいもない毎日の中にそんなことがたくさんつまっています。いいこともいやなことも長い目で受けとめて、いつか消化し、自分の力にかえいくことができるよう、子どもたちとの生活を大事にしています。

そして花の台にはそんな思いを共有できる父母会があります。

子どもたちが大人になった時、「親は働いていて家にいなかたけど、花の台で毎日友だちや指導員とあそんで楽しかったな～、キャンプやバザーでお父さんやお母さんもがんばってたな～、自分は愛されてたな～大事にされてたな～、ひとりじゃなかたな～」と思いつける放課後を、みんなで作っていきましょう。

花の台の良さをもっとたくさんの人々に知らう取り組みはまだまだ続けなくてはなりません。

今年度はたくさん卒室しますが、OB OIになつても、いろいろなお手伝い、応援をよろしくおねがいします。



もちつき会

2024.1.21

久しぶりに花の台の「もちつき大会」が戻ってきました。

前日、当日とあいにくの雨でしたが、「年の数だけ もちをつく」「親子けんかごま対戦」「車路でこまアソビ」「室内で静かなアソビ」を、学年ごとのローテーションを組み、スケジュールより少し早いくらいのテンポですすめることができました。 成人の親子を迎えての会食、お祝いの花束、成人OBの声からのおいさつもみんなで聞くことができました。「スマホやゲーム、エチケットばかりでなくいっぱいあそんでほしい」「学校からの帰り、ピンポンダッショしておられた」などの言葉に、子どもたちの成長を感じたり、今の子たちも共感できることがいっぱいあったと思います。 成人の子たちの仲の良さにとてもうれしい気持ちになると共に、卒室にて築立っていってもまた帰ってこれるあたたかい場所、花の台をずっと守っていきたいなあと、つくづく感じました。 実行委員さん、OB佐藤久、父母の皆さん、おつかれ様でした。



雨の中、早朝から
ターフを張って
もちつきの準備、
父のみなさん、ありがとうございます



まず、西川さんに
もっていかれの
丸もちづくり
ここでも父たち奮闘中



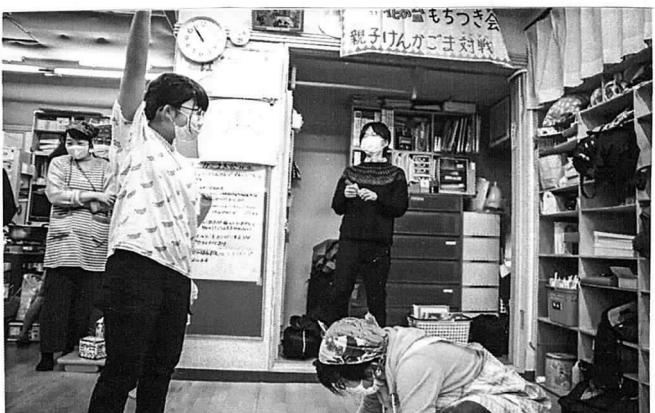
夕方の
みんなで会食
母たちももちづくりに
大忙し



成人
おめでとう
ございます！



成人のOB
たくさん来られて
うれしかったです！



〈親子けんかごま〉 1年生(4対1) 3・4年生(7対1、1引分) 5年生(6対1、1引分) 6年生(6対0)
で子どもチームの勝ち! 2年生は、4対4で引き分けとなりました。結果全ての学年で親チームが勝つ
ことはできなかったのですが、父母の皆さん、けんかごまへの参加ありがとうございます。練習してくれて
いた方々、ありがとうございます。親子でけんかごまなんて体験は花の台でしかできないので、来年も
またのしあわせがんばって、子どもにリベンジしましょう!!



ドッジボール大会のこといろいろ話しました

1・2年生会議

1/23 ④しづく・さき・けいた・えま

- ・ドッジボール大会は春休みにあって7つの学童が集まること
- ・花の台が参加しても来なくても大会はあること
- ・去年は7位だったこと（みんながんばったけど……）
- ・今日休みのさきちゃん、しづくちゃんは⑤リーダーになりたいと言っていたこと

} 去年の様子などを話し、今年はみんなどう思っているのかききました。

つむぎ „ 去年は他のところが強すぎて相手に勝てなくていやだった

ひかり „ 参加したい。「逃げる人」「投げる人」それぞれでリーダーがいるといい、リーダーになりたい

ひろき „ 去年ボロ負けして、次はにげないで勝ちたい

ことね „ (ひろきと)同じ

ゆずほ „ 相手が強すぎて逃げてばかりだったので、もっとボールがとれるようになりたい、リーダーになりたいのをね』 相手がクソ強い。大会には出たくない

ニコキ „ ドッジボールは命がけだからやりたくない。大会にも出たくない

けいと (相手を) ほんしたい

すず „ 自信ないけど出てもいい

けいな „ 好きじゃないけどやってもいい

くるみ „ どちらでもいい

つむぎ „ (試合の前に) エイエイオー!ってやるといい

ひかり „ 1戦でいいから勝ちたい

ひろき „ ⑩大会出たくない

指 „ さき次はがんばると言っていたけど?

ひろき „ それは頭(脳)で言った。「出たくない」は心で言った

後日、リーダーが決まりました

リーダー (さき) (しづく)

副リーダー (ひかり) (ゆずほ)

保育園でドッジボールをやったことがない人もいたり、やったことはあっても、ボールがよくわからない人もいたので、ルールの確認も含めて、ドッジボールがどんなものかやってみよう、と短かい時間ですがやってみました。子どもたちの中には「ドッジボールが好き!」「ドッジボールはふつうだけ負けてしまうのは悔しい」「ドッジボールはキレイ、可愛い」「ドッジボールが好きなのはわからないけど上手くなりたい・強いボールがおもしろいみたい」となどいろいろな思いがあります。

花の台でも、これまでの子どもたちのことをふりかえると、低学年の頃は苦手でも、3~4年生くらいから、体も技術も伴ってきて、ドッジボールが上手になり自信がついたり、ドッジボールが好きになる子もたくさんいました。大会では、他の学童と戦うので、同じ花の台の仲間とて団結したり、当日は試合に出たいという子もいました。1・2年生の子たちは、とくに長い目でその成長を見守りながら、ドッジボールにとりこんでいこうと思います。おうちでのいろいろな子どもたちの声ありましたら、おしゃべりくださいね。

3・4年生会議

/24

⑧ ななこ・ありさ

リーダー(なおき・はるき・かずまさ)

昨年の感想とドッジボール大会についての気持ちをきく

かなで" 別のホールの指導員に「あの子を狙え！」と言われて嫌だった。 今年は出たくない。
なおき" (去年) 吳たちが4年でリーダーで4年が当っていたので、今年の4年はオレらだ"から。

当てたい。(3年の時) キャッチはできていた。投げを極めたい。出たい
かずまさ" 避け、キャッチ、投げを極めたい。得意なのは避けること。苦手なのは投げること。
(去年) 3位で嬉しかった。出たい

れん" 最後まで(避け)残りたい。できればキャッチしたい。投げたい。出たい

はるか" 怖かった。当たら悔しかった。やりたくない。

はるき" 今年はアタックを極めたい。相手を当てたい。出たい

ゆきの" (去年よりも改良した) 応援グッズを作って応援する。ボール拾いをすばやくできるようにする。
今年も出たくない

いちか" キャッチができないから、キャッチをしたい。出る。

出たくない人の気持ちも、がんばりたい人の気持ちも出してきて、よくわかる。人数が少ないと試合にならないので、出たくない人は半分とか。どうしても出たくない人はせめて1試合は出てほしい。と伝え。みんなでキャッチボールの練習をたくさんやることにする。リーダーについては、なおきくんだけ手を挙げてくれる。隣にいたはるきんに、「やれよ」と言わんばかりに手を挙げさせようとしていて、はるきんも手を挙げてくれる。そうしたら、かずまさんも「じゃあオレも」と手を挙げ、みんなが了承し、この3人がリーダーに決りました。

條目、なほに" 他の学童とやるのは嫌だった。知らない人とやるのは嫌。花の台でやるのは
よりも怖い。相手がどんなボール投げるとか、強いとか、強く当てても謝ってくれないから。嫌だ。

ありさ" 他の学童とやるのは怖い。ボールが怖い。3試合ならがんばれる。

5・6年生

/17

⑧ なほ・あかり

リーダー(じょうたろう・こう)

1~4年のようにドッジボールが怖い、いやだ～という子はいるけど、ドッジボールすきだらがんばるぞ、優勝めざすぞ!という子もない5・6年生。参加するなら勝ちたいという気持ちはあるので、5・6年チームとしては、大会には出ることは決定。でもリーダーをやりたい人はいない。将太郎くんと昊くんを差し置いて、「オレが(私が)やる!」なんて言えない……そもそもリーダーと名のつくものはやりたくないメンバー、そして将太郎くんと昊くんもさほどドッジボールが好きなわけではない…という中で時間だけが過ぎていく。しかしここは将太郎くんと昊くんでは!というみんなのすみで、2人がリーダーとなり、志道くん、想くんがサポートすることになりました。あと少し欲が出ればいいチームになりそうだのに……指だけかもったいね……とじれったい思いをしています。どうも世人にさせなかんじの5・6年生です。



かわさきベーゴマ大会

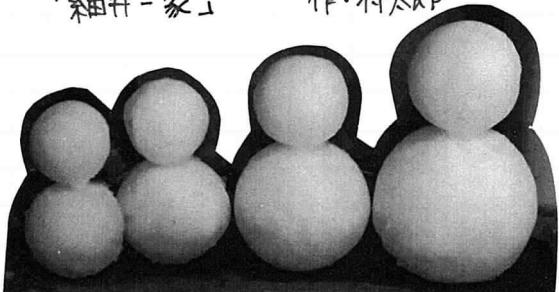
OBにあっても大会に参加し
練習にも来てくれた坂風くん、
将太郎くん、佳斗くんも。
坂風くんが練習に来たばかり
～と、楽しみにしていて。



来るかもしれない日の夕方は

何度も花の台の玄関の外を見にいて坂風くんの姿を探して
いました。将太郎くんも佳斗くんもOBにあっても
来てね！

「細井一家」 作・将太郎



つかの間の雪 を楽しむ！

2/6 公園の雪は
とけていましたが
スベリ台に残った雪を
集めて、雪合戦や
雪だるまづくり
をしました。

将太郎くんが佳斗くんが練習して
いる姿を見て、まだまわせない
段階で「大会に出る！」と決め、
1週間練習した晃希くん
の気持ちがすごいです。



今年の東の方は“東北東”

福を巻き込んだ巻き寿司を東の方に向いて
黙ってたべる。“福”がおとずれますように…



1月 27日(土)

ベーゴマ大会

参加：佳斗、将太郎、晃希、OB 鳐

昨日、「明日も練習したい」と将太郎が言ったので、じゃあ少しだけ…と、集合時間を早めて 13:30 集合にした。13:00 には学童に来ていたが、13:10 くらいに佳斗が母とやってきて、母が「早目に行って練習したいって言って…」と、早く来た。大会に向けて、ベーゴマを削りだした。

将太郎が 13:30 にやってきて、13:40 くらいには颯が来た。

揃ったので、4 人で練習…ただ、みんなベーゴマを削りだして、「今からかよ！」とつっこんだが、3 人で楽しそうに。こんな時間が平日夕方にのんびり取れてたら良かったのに…と思う。

「早くいかないといい大会べーが選べない」と将太郎は早く行きたがるが、ギリギリまで削っていたのは 3 人。

細井母の運転で出発。車酔いしやすい佳斗のことを考えて、窓側を譲って真ん中に座る将太郎。優しい。

14:35 くらいにオカリナ近くのクリエイトに着いて、オカリナへ。受付で昨年は大会べーを見て選べたが、受付で渡されるものが自分のべーで、将太郎はガッカリしていた。しかも回してみて、バランスが悪い、佳斗のはバランスがいい、「変えてくれ～」と嘆いていた。

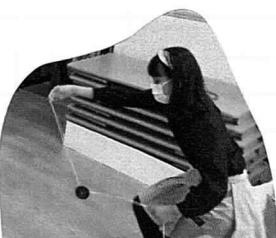
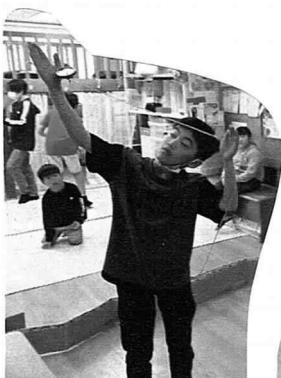
トーナメント戦。小学生、中学生～大人で分かれて、自分で初戦の対戦相手を見つける。こうきには、「なるべく大きい人とやらないで、最初は小さい子とやりたいから、がんばって見つけるんだよ」と言っておいたのだが、ちゃんと自分で相手を見つけて声をかけていた。…それに比べ、佳斗は自分で声をかけられずに、「対戦相手がない…」と戦い始めてから言われ、声をかけてあげる。しっかりしろ…と今年も思う。かつつい以外は 1 回戦目は勝ち上がった。2 回戦目で佳斗、こうき、颯が負ける。2 回戦目もこうきは、自分から対戦相手に声をかけて、なるべく小さい子を見つけていたのだが、オカリナ同士の対戦になってしまふペアがあつて、変えられてしまう…。仕方ない事なのだが、せっかく自分で声をかけていたのに、と思ってしまう。3 回戦目は 3 人で対戦となり、将太郎が「1VS1 だったら勝てたのに…」と嘆いていた。将太郎はここで負けた。ここで勝てたら、入賞だった。

カード戦。一人 20 枚カードを持ち、3~4 人で対戦し、勝ったらカードを貰い、負けたらカードを渡す。制限時間 40 分でカードの枚数を競う。ここでも、自分から 3~4 人の相手を「やる人～」「巻てる人～」「あと一人～」と声を掛け合ってやる。

カードの結果は、将太郎 68 枚、佳斗 48 枚、颯 24 枚、かつつい 19 枚、こうき 4 枚。こうきも 0 枚にならずによくがんばった！

結果発表。カード戦で、佳斗が 3 位、将太郎が 2 位に入った！トーナメント戦が残念だっただけに、みんなが嬉しかった。2 人も入賞したことと、佳斗も将太郎も(小学生)最後の大会で入賞できて良かった！その後、ベーゴマもいっぱい買って、大満足！

(勝山)



こま検定

たけちゃん

2/15

今年度最後のこま検定(日本こまわい協会による)は、たけちゃんが来てくれました。

花の台では初段からは、たけちゃんの検定を受けることにしているのですが、子どもたちの上達がすばらしく花の台の3/4は初段以上となっています。なので多勢の子がたけちゃんにみてもらいました。いざ「検定」となると練習の時のようにうまくできない子もいましたが、ほめてくれたり、的確なアドバイスをくれたり、直接コツを教えてもらえるのでとても有意義な時間となりました。たけちゃんとのつきあいも長いので、OBたちのことも覚えてくれるのもうれしいです。

更に性能を上げたこまが作られていることや、全国規模のこまの大会の話などをきけるのもたけちゃんが来てくれる楽しみのひとつです。

今回もOBの寛亮くん新くんが検定を受けに来てくれました。

卒室したあとこまを楽しむ子はほんの少しで大半は、こまにふれるとはないと思います。
(→20才のときのもちつきかね)

花の台だから経験できたりこま。

卒室するまでに充分にこまを楽しんで極めてください。

3月31日には「第9回全日本こま技選手権大会 in 名古屋」があります。興味ある方は是非参加を!!